

地域の方々と共に取り組む 定着性・継続性のある活動

複雑化している混合交通社会で交通事故を防止するためには、
運転者だけでなく、子どもから高齢者まで、すべての方々への交通安全教育が必要です。
Hondaでは、交通安全教育を「生涯教育」と捉え、すべての交通参加者を対象に活動しています。
地域の皆様と連携し、さらに定着性・継続性のある活動をめざして、
今年、「地域に根ざした活動」を全国に展開していくための基盤づくりに取り組みました。



地域と一体となった交通安全

Hondaでは、これまで全国8ヵ所にある交通安全センターと、四輪・二輪・汎用販売会社を活動拠点として、運転者を中心とした安全運転普及活動を充実させてきました。

そして昨年、子どもから高齢者まで、地域と一体となった交通安全教育を全国に広げるための新たな活動拠点として、熊本製作所に設置した「地区普及ブロック」を今年には栃木、埼玉、浜松、鈴鹿の各製作所にも設置しました。

地区普及ブロックには専任のインストラクターを配置し、自治体や警察、教育機関、関係諸団体などと連携しながら交通安全活動を展開。地域の実態やニーズに合わせた参加体験型実践教育の場と機会を提供しています。また、さらに活動を定着させ、継続的なものにしていくため、地域が必要としている交通安全活動の指導者づくりについてもサポートしています。今年には指導者養成も含め3万人以上の方々に啓発活動を行いました。

今後も5ヵ所の地区普及ブロックは製作所のある地域を基点に活動のエリアを拡大し、将来的には全国規模での展開をめざしています。日本全国で各年代に適切な交通安全教育を提供するための体制づくりを地域と一体となって取り組んでいます。

自動車教習所との連携強化

Hondaは、地域において交通安全活動に積極的に取り組んでいる自動車教習所と連携し、交通安全の輪をさらに広げ、定着させるための活動を始めました。Hondaの活動拠点だけではカバーできる範囲はどうしても限られてしまうため、地域に根ざした活動を全国に広げ、定着させていくためには、自動車教習所との連携は非常に重要であると考えています。

今、自動車教習所は運転免許取得教育の場としてだけでなく、地域で交通安全教育を実践する場としても期待されており、子どもから高齢者まで幅広い年代への生涯教育に真剣に取り組む自動車教習所も増えています。Hondaは、こうした同じ志を持つ自動車教習所と提携し、Hondaの持つ教育プログラム・教材の提供、指導者のレベルアップ教育などを通じて、自動車教習所が主体的に行う交通安全活動をサポートしています。提携先の教習所は昨年の13校から今年は31校へと拡大しています。



警察署と連携して「あやどい、長寿編」を開催(栃木普及ブロック)



いきいき運転講座指導者研修(埼玉普及ブロック)



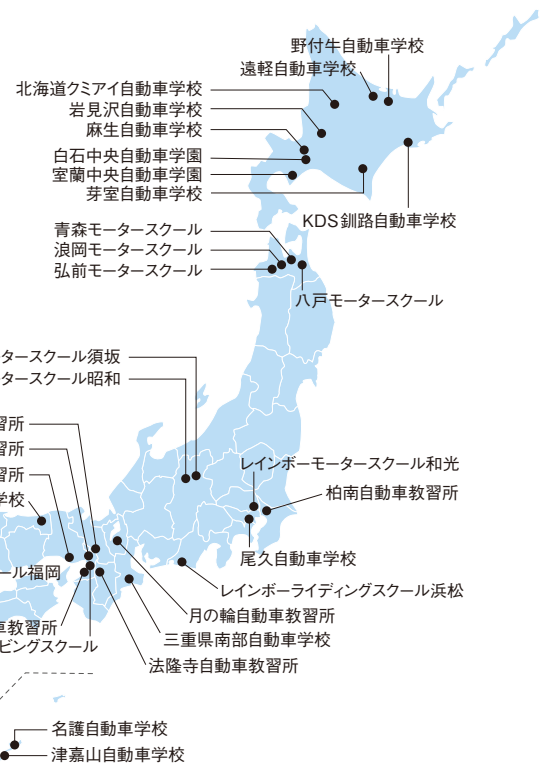
高校生に自転車シミュレーターを使用した交通安全教室を開催(浜松普及ブロック)



交通安全指導員と連携し「あやどい」自転車教室を開催(鈴鹿普及ブロック)



親子交通安全教室(熊本普及ブロック)



提携教習所は20社・31校(2009年10月現在)



沖縄県での交通安全教室(名護自動車学校)